

岐阜県の

プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第51号

《新年ごあいさつ》大松理事長

県の地場産業総合振興事業に着手

特別バスで東京のジャパンプラ見学

1月26日に組合青年部を創立

業界ニーズ

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより

賀正



地場産業総合振興事業の推進として、開いた特別講演会

《新年ごあいさつ》

国際環境の変化に生きる年

岐阜県プラスチック工業組合 理事長 大松 幸栄



明けまして おめでとうございます。
昭和58年度のプラスチック加工業界は大変に厳しい年になりました。それは、昨年来の原料樹脂の高騰を受けて、製品部門への価格移動がいまだにスムーズに行われていないということであります。一般経済が決してよい状態ではありませんので、これに挑戦して、原料高を製品に転嫁することは並大抵ではありません。

こうしたことが一般の経済の原則に従うならば、このことは明確であります。あの石油ショック以後はこの原則通りに行かないのが実態であります。原料価格は原油ナフサの価格の他に、為替レートの問題が大きく影響して来たのであります。それに加えて、わが国の原料メーカーの国際競争力の差が急激に浮上してまいりました。以上のような条件から、われわれの環境も大きく変化を来たして来たのであります。

しかしながら、最後に大切な要件になることは、ユーザー消費者に受け入れられる製品づくりをすることで、何より一番重要なことであります。このためには業界が協力し合って、おのおのの立場を理解しながら商品開発、技術開発に邁進しなければ、こんどの企業の発展はありえないものと思えます。

プラスチック加工業界に籍を置くものは

こんごなんと
しても国際環境に十分関心をもっていかねばなりません。そして、国際環境の十分な把握

大松 理事長

が、国際商品化されているプラスチック製品業界には大切な事であります。したがって今年の課題は、国際環境の変化の多い中で生き抜いて行くことであると思えます。

新年を迎えていつも思うことは、今年こそよい年にしたいと考えるのであります。現実はなかなかそのようにいきません。しかしながら、この願望がある限りは、少しずつでも前進を続けることが出来得るのであると信じます。わが国の合成樹脂業界も今年こそ広く視野を世界に向け、しかも、足元を十分に固めながら一步一步前進できる年でありたいと念願しております。

最後になりましたが、昨年9月の『プラスチックフェア岐阜』の感激を忘れることなく、工業組員各位のたゆまぬ努力によって岐阜県のプラスチック産業が発展し、ひいては企業が繁栄して行くことを祈念して新年のごあいさつといたします。

『経営技術革新セミナー』

県の地場産業総合振興事業に着手

大がかりに人材養成と取組む

岐阜県プラスチック工業組合は岐阜市金属振興協同組合と共に、県の地場産業総合振興事業の助成対象となり、このほど事業着手した。この事業は地場産業を取り巻く厳しい環境に対処するため地場産業振興ビジョンに沿って複数組合が共同で実施するもので、工業組合は『経営技術革新セミナー』をテーマに人材養成事業と取り組むことにした。

大好評だった日本のシナリオ

経営技術革新セミナーのメイン事業として、さる12月10日午後6時から岐阜産業会館文化ホールに、システム工学の研究者で知られる唐津一松下通信工業常務取締役を招いて特別講演会を開いた。テーマは『1990年、日本のシナリオ』で、とくに中小企業における経営と技術革新を考えるを副題に話したが、組合員企業に関心持たれているテーマだけに両組合の参加者は合計350余人にもものぼった。

唐津講師はこの講演の中で『経営や技術を革新するボトルネック（問題点）は数多い。そのリストは低生産性の克服、産業間のギャップ、省エネ・省資源、過密化、安全のためのコスト増大、経済規模拡大からの壁、増大する官僚主義、経営者の近視眼化、勤労意欲の低下、高齢化と若年労働力の減少などと数限りない。しかし、日本人の知恵と努力をもってするならば、これらのボトルネックは十分解決できるだろう』と語り、参加者に感銘を与えた。

なお、こんご予定される工組関係の経営技術革新セミナーのテーマは『品質管理と検査基準』『省人化による生産性の向上』『生産工程に



セミナーは大好評で特別講演会の会場は一杯おけるロボットの役割』などを予定している。（日時は決り次第ご案内いたします）会場はいずれも岐阜産業会館。また、松下電部品清洲工場などを訪問、現地研修会を実施する予定である。

多品種少量成形機が日立つ

特別バスで東京の
ジャンプラ見学 エンプラも注目

『ジャンプラス82東京-第9回日本プラスチックゴム見本市』は、11月17日から6日間、東京、晴海の国際見市会場で盛大に開かれた。当工業組合では特別バスによる見本市見学会を実施、参加した30会員が会期中日の19日に会場を見学、また、商談に参加した。

とくに見学会に先だって18日は、日立製作所の戸塚工場を見学、同夜は横浜東急ホテルで一泊、大松理事長ら工組役員、会員が一堂に集って業界の問題点や振興策などについて懇談した。

見本市は過去最大の展示規模

ジャンプラス82東京は、わが国のゴム・プ



ジャンプラ研修旅行で工組一行が記念撮影

ラスチック業界最大のビジネスショーである。今回の出品者数は前回に比べ30%増の272社（内部出品者を含めると393社）出品展示実面積では60%増の1,674小間で、出品者数、展示面積ともに過去最大の規模であった。出品内容の内訳は、原料・製品が53社、成形

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

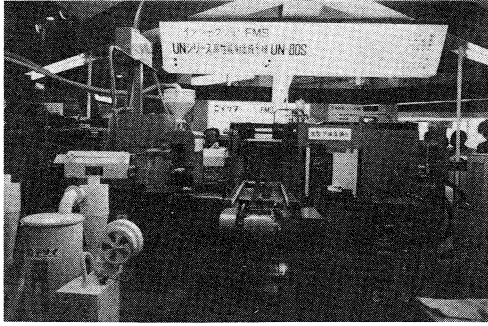
ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代



話題の多かった成形機の展示会場

機が55社、二次加工機が46社、合理化機器が55社、試験・計測・制御機器が29社、金型など関連機器21社。

ニーズにこたえる成形機各社

前回は全自動機、ロボットなどに多大の関心があったが、今回はエンプラの登場など材料革命が進みつつあることから多品種少量成形機の登場がめだった。最近のユーザーニーズは精密成形（ミクロン）でかつ無人化（システム成形）に加えて多品種少量、さらに省エネ・省電力タイプという大きな課題を抱えているからだ。

成形機メーカー各社が会場で試みたキャッチフレーズをみても、日本製鋼は『新材料へのチャレンジ』日精樹脂は『精密成形（ミクロン）

＝完全無人化（システム成形）』名機製作所は『サブミクロンへの挑戦』など、メーカーのニーズへの対応ぶりがうかがえた。

材料革命と呼ばれる最大の理由に『エンジニアリングプラスチック』（エンプラ）の登場があるが、今回の見本市には宇部興産、三井石油化学工業、電気化学工業、クラレ、デュポン、三菱モンサント、フィリップスなど8社がユニークなエンプラを出品し、エンプラメーカーの開発競争ぶりにはめざましいものがあった。

組合青年部を創立 1月26日 役員会後に

当工業組合は新春1月26日（水）午後、岐阜市内の岐阜グランドホテルで役員会、組合青年部創立総会、新年会員懇親会を開く。

役員会は同日午後4時から、組合青年部創立総会は午後5時から、会員懇親会は午後6時から開催する予定である。

とくに組合青年部の創立総会は、57年5月に開いた総会で設立構想が認められ、同6月8日に第1回設立準備会を開いたのを皮切りに設立準備を進めてきたもので、ようやく設立発足の運びとなった。

ポリエチレン
スミカセン[®]

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
エバテート[®]

ポリプロピレン
住友ノーブレン[®]

ポリスチレン樹脂
エスプライト

塩化ビニル樹脂
スミリット[®]

メタアクリルシート
スミペックス[®]

メタアクリル樹脂
スミペックス-B[®]

高密度ポリエチレン
スミカセンハード

熱可塑性エラストマー
住友TPE

合成ゴムSBR
住友SBR

合成ゴムEPR
エスプレン[®]

エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂
スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

◎法定耐用年数の総合的見直し◎

通産省は中長期的に民間の設備投資を活性化させるため、来年1月、産業政策局に『設備投資促進委員会』（仮称）を設置する。民間の設備投資は合理化・省力化、維持・補修投資という守りの方向で停滞色を強めているが、現状のままでは設備の老朽化が進行、先行き国際競争力の面でも問題が生じることが予想される。

このため通産省では民間企業が計画的に設備更新を行い、新鋭設備を導入する上での具体的な政策支援策を検討するもの。その焦点は法定耐用年数の総合的な見直しが考えられる。

◎ポリエチ共販が4グループ化◎

石油化学工業の整備問題は実行段階を迎えているが、その第一弾として低密度ポリエチレン高密度ポリエチレンのフィルムグレードの共同販売会社を設立、これをステップに生産・流通を含めた抜本的な構造改善を進めることになった。その中核として①三菱油化、三菱化成の三菱グループ②三井石油化学（三井ポリケミカル）日本石油化学の三井グループ③住友化学④旭化成、昭和電工の非財閥グループの4グループ化がこのほど固った。

各社とも近く最終的なグループ化を固め具体的な提携交渉に着手する。

◎米国で樹脂の複合使用めだつ◎

米国ではプラスチック合金などプラスチックの複合使用が急速に増えている。1990年代の初期までに年平均13%も伸びると予測されている。

すでに開発された技術を見ると①航空機の翼や胴体、支持部品はすでに航空機全重量の約65%も占めている②カーボン・ファイバー強化

のオール・プラスチック製エンジンが登場している。金属性エンジンの2倍の寿命を持つという③プラスチック宇宙機器は、同重量の鉄合金の5倍の強度を持つ一など。

◎倉庫安全指導員制度の実施へ◎

57年8月、四日市で起きた営業倉庫の爆発事故原因は、調査が進むにつれて『保管中の発泡性ポリスチレンから生じたガスに、冷凍機の電気接点で発生した火花から引火した』との見方が強まってきた。安全を看板とする倉庫が起こした事故だけに、業界はもちろん運輸省、消防庁の関係官庁も再発防止と信頼回復に躍起で『倉庫安全指導員制度』の創設も決った。実施は58年度からで、運輸省の研修を受けた倉庫マンを指導員に認定し、企業の本社や支店に配置を義務付ける方針である。

◎セラミックス専用の射出成型◎

日本製鋼所はセラミックス専用射出成型機『J100S』を開発、市販開始した。同社は早くからセラミックスの将来性に注目し、成型加工法の研究開発を進めてきた。射出成型機によるセラミックスの成型加工に当たっては、従来に比べ一段と高い機械的強度を有するシリンダ、スクリー材の開発が要求され、同社では独自の技術により飛躍的に高い性能を有する材料を開発し、実用化にこぎつけた。

開発された射出成型法によると、高精度の成型品を短時間に成型することが可能で、将来、大量の需要が見込まれる工業用セラミックス製品的大幅コストダウンが図れる。

すでにわが国の代表的なセラミックスメーカー数社で採用され稼動している。当面は年間200台程度生産して研究用とし、昭和60年代には年600台程度の販売目標をたてている。

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

クチコミ市場に強い製品開発

最近、マスコミのパワーが低下したのではな
いかといわれています。

そして、今、販売促進に最も重要なことは、
仲間同士の情報交換、横コミュニケーション、
クチコミ……といわれている。

つまり、テレビ、ラジオ等の個々の宣伝力だ
けでは、売り上げを予測することも、又その効
果を測ることもできない。消費者の購買行動に
大きな変化があらわれているという。

商品の多様化、シリーズ化といったマス商品
になりにくいというような商品構成が必要とさ
れる消費ニーズの多様化もその一つといえるが、
今年6月、東京のこだま会から発表された「主
婦のテレビに関する調査」もそれを明確に実証
している。

この調査は、首都圏に住む20代から60代
までの主婦を対象としたものである。

これによると、テレビ視聴時間が前年よりも
減ったというのが43%もあり、年齢別にも30
代の主婦の落ち込みが最も多く52%となって

いる。

さらに、「あなたが面白くて楽しいと感じる
時は」という質問に対する答えには、第1位と
して、友達などと話をしたり、電話をかけた
りする時で71%、2位が、趣味やけいこ事の58
%、3位が家族と話をしたり、子供の相手をして
いる時51%、4位(旅行、ドライブ)44%
5位(読書)42%、以下ショッピング、映画
芝居・スポーツを見る時、スポーツ・散歩・運
動をしている時となってやっと9位にテレビを
見ている時25%となり、主婦の4人に3人が
テレビをまったく無視していると考えられる。

マスコミよりも直接反応のあるパーソナルコ
ミュニケーションのほうが面白くて楽しいとい
う結論がだされたわけです。

これが、一方でいわれている店頭販売の時代
へとつながっていく。

今後の市場を予測すれば、これらクチコミ、
横コミュニケーションに対応したより説得力の
ある製品開発が望まれ、結局は、前回のデザイ
ンコーナーで紹介した様な企業イメージをたいせ
つにした他社製品との個性的な差別化をすすめ
ていくことになると思われる。

(岐阜県工業技術センター工業デザイン室)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルプ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611

待望の意匠登録の許可下りる

児山樹脂工業所



児山さん 新年号の工場訪問は美濃市御手洗にある児山樹脂工業所（代表児山広茂氏）を訪ねた。工場はもみじ谷で有名な大矢田トンネルをくぐり抜け、板取川へ出たところ。児山さんは代々の家業を継ぎ板取川の水で和紙の手すきを生業としていた。その和紙と取り組んで10年目の昭和38年、将来性に疑問を感じ、プラスチックの成形加工へ転業した。

最初は圧縮成形機による刃物のハンドル。関の刃物メーカーの下請けで、射出成形機導入後もしばらく続いた。射出成形機を入れたのは、44年で、児山さんは『成形開始は9月5日。あの操業開始の感動は忘れることはできない』と話す。

協会のプラ展見て成形機導入

射出成形機導入を決意したのは、当時、岐阜県プラスチック協会が毎年開催していたプラ展の実演を見てからという。しかし、機構の簡単な圧縮成形機と違い射出成形機の操作は難しい。思い切って長野県の日精樹脂工業にある日精スクールへ入り、成形技術を修得した。日精スクールを卒業して2カ月後、待望の第1号機が稼働開始したのである。

成形機はほとんど毎年1台ずつ増え、工場の新増設も重ね、現在、工場内には3オンスから

10オンスまで8台が並んだ。主として雑貨品を成形した。ところが53年、受注先・名古屋の親工場が倒産。貸し倒れとなった額は1千万円を越え、その穴埋めに2～3年苦しい経営が続いた。しかし、逆境の中から常に新境地を切り開いて行くのが児山さんの持ち味。まず、倒産会社の金型をヒントに『虫かご』をつくって自社商品として販売した。形も金魚、星、蟬など子供に夢を持たせたもので、さらに新しく犬の形をした虫かごが加わり、この新春から4点セットで新発売する計画である。

『自社商品』を一つ一つ増やす

『ここまでこぎつけるのは大変でした。既存の意匠登録や実用新案にふれて特許侵害だと抗議を受け、一時は製造販売を中止しようと思った。幸い工業組合のあっせんで弁理士の指導を



受けて工夫改良を重ね、このほど意匠登録の許可が下りたが、実用新案も見通しがある。倒産余波は苦しかったが『おかげで自社商品が生まれた』と児山さんは貴重な体験を話す。最後に『地方にある中小成形工場が生きていくためには、どこでもつくっていない自社商品の一つ一つ増やしていくこと…』とつけ加えた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

あけまして おめでとうございます

この新年も組合の皆さんから一層親しんでいただけるように、事務局員一同がんばります。

□工組組合員の増強にご協力下さい□

工業組合は一昨年、県内各地で地域懇談会や特別講習会を開くなど会員の増強に力を入れてきましたが、最近ようやく実りはじめ、新規加入の申し込みが相次いでおります。今後も機会あるごとにアウトサイダーへ組合加入を呼びかける方針です。ご協力下さい。次は新組合員の皆さんです。(順位不同)

〈早矢仕化学工業所〉 山県郡美山町笹賀 160。代表者は早矢仕文一氏。従業員 2 人。射出成形機 2 台。家電部品、工業部品。

〈大西化学〉 山県郡美山町葛原。代表者は大西正簡氏。従業員 6 人。射出成形機 3 台。家電部品、自動車部品、日用品。

〈美濃プラスチック工業〉 本巣郡徳積町本田 1633。代表者は富田進。従業員 9 人。射出成形機は 8 台。自動車部品。

〈加茂企業株式会社〉 美濃加茂市牧野 1878 番地。代表者は玉置徳太郎氏。従業員 4 9

人。押出機、ナイロンプラスチック再生ペレット製造、ポリエステル粒状原料製造。

〈古田工芸〉 加茂郡八百津町八百津宮嶋 5046。代表者は古田潔氏。従業員 8 人。射出成形機 7 台。はさみハンドル、家具部品。

〈長瀬工芸〉 関市神野 1606 番地の 1。代表者は長瀬定氏。従業員 5 人。射出成形機 3 台。はさみハンドル、家具部品。

〈足立化学〉 加茂郡富加町大平賀 1309 番地。代表者は足立正吉氏。従業員 3 人。射出成形機 4 台。はさみハンドル、家具部品。

〈オゼキ工業所〉 加茂郡富加町大平賀 1400 の 4。代表者は小瀬木一夫氏。従業員 8 人。射出成形機 4 台。はさみハンドル、家具部品。

□1月26日の新年懇親会にご出席を□

5頁の記事のように工組は1月26日に新年懇親会を開きます。会員の皆さんご参加下さい。

岐阜県のプラスチック 1983 51号

昭和58年1月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバデュール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) [〒100]

謹賀新年

岐阜県プラスチック

工業組合役員一同

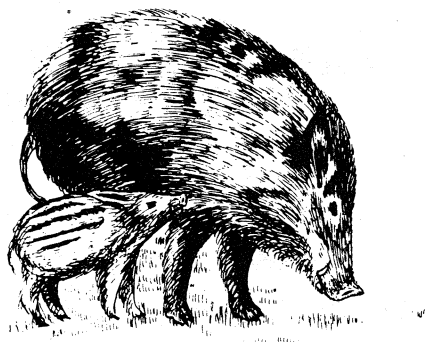
昨年はなにかと

お世話になりました

本年もどうぞよろしく

お願い致します

昭和五十八年元旦



岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233(代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中宇州崎
TEL <0582> 46-1313(代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0583> 82-4361(代)

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL<0582>45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL<03>551-6300〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8348
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL<058427>4141番(代表)

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 米谷元則

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325番(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表3388番

関化成工業有限公司

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)
工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

厚見プラスチック 工業有限公司

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地
TEL<0582>45-1245



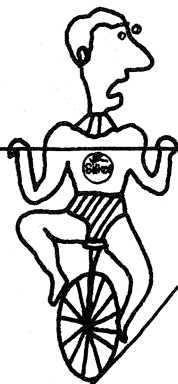
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

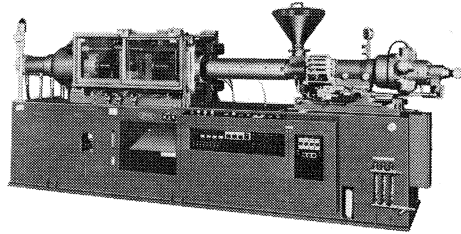


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野 根 坂 城 町 電話 (02688) 2-3000 (次代表)
営業所 東京 ☎ 03 257-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所 全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市茜部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成コム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

ゆたかな生活環境をクワイエット

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)166-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。



岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
 稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
 支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮